

◇◇◇主な功績◇◇◇

【団 体】

白石市地域学校協働活動
登山ボランティア部会 殿
(白石市)

白石市地域学校協働活動登山ボランティア部会は、平成15年より、故高橋 久氏を中心とした地元の登山愛好家によって蔵王連峰における児童生徒及び教師の体験活動支援団体として活動が始まった。発足当時は有志による活動であったが、より一層の組織的・持続的な活動支援ができるよう、平成29年度に本会を正式に設立した。市内小・中学校への登山活動支援のほか、学校及び登山ボランティアへの研修会等を精力的に実施し、有志活動時代から10年余りの活動実績を有する。登山活動支援を通して、児童生徒の教育的課題の共有や支援、また地域の自然遺産に触れさせることで、地域の豊かさを実感する体験を通じた郷土愛の醸成を図っている。子供たちは、登山活動により協働への愛着を一層深めており、白石市の協働教育推進に大きく貢献している。

村田小学校
読み聞かせボランティア 殿
(村田町)

村田小学校読み聞かせボランティアは、平成23年度から村田町学校支援ボランティアとして読書活動支援を行っている。主な活動として、当該小学校の全児童を対象に、読み聞かせを通して読書の楽しさを伝えるとともに、読書への興味・関心を高める学習支援に取り組んでいる。また、図書室の整備活動も行っており、児童が図書室を利用しやすい環境づくりに務めるなど、幅広い視点で子供たちの学びの充実に努めている。

当町において開催している地域ボランティア対象の研修会等にも積極的に参加し、子供たちへの学習支援に対する知識・技術の向上に努めながら活動にあたっている。その活動は顕著で、当町の協働教育の推進に多大な功績をあげている。

特定非営利活動法人
塩釜市体育協会 殿
(塩竈市)

平成28年度、塩竈市教育委員会生涯学習課と連携し、塩竈市立玉川小学校にて、運動要素を取り入れたレクリエーション活動などを中心に、放課後の子供の安全・安心な居場所づくりを目的とした「わくわく遊び隊事業」を開始した。

平成29年度からは、塩竈市教育委員会から「わくわく遊び隊事業」を委託され、市内6小学校へ拡大した。以降、毎年多くの児童が参加し、市内外において広く認められる活動となっている。

「わくわく遊び隊事業」の開設当時から当団体が実施主体となり、指導講師の確保や開催小学校との連絡調整、運営委員会の立上げ、人材育成など、持続的・安定的に取り組み、塩竈市の協働教育推進に大きく貢献している。

相互台地区
コラボ活動推進本部 殿
(名取市)

相互台地区コラボ活動推進本部が連携・協働する相互台小学校は、平成19年・20年に宮城県の委託を受け、「みやぎらしい協働教育推進事業(コラボスクール推進事業)」によるモデル実践校となった。地域の方と児童で作る「キラリ!花時計」の花苗植え活動、ジュニアボランティアを募っての様々な地域活動などを実施。委託事業は2年間で終了となったが、地域住民からの「今後も継続していきたい」という願いを受け、公民館長を会長とした「相互台小学校区コラボ支援連絡会」を設立し、平成21年度以降も活動を継続してきた。

平成31年度から「地域学校協働活動」が始まり、令和2年度からは「相互台地区コラボ活動推進本部」と改称し活動している。現在も、地域と学校の協働を通して、地域の特色を生かした活動を実践し、子供たちの「生きる力」の育成を図り、地域の人々が持つ技術や知識を貴重な「地域資源」として活用し、心豊かで生き生きとした地域社会の実現を目指している。

矢本西小学校
わくわくチャレンジボランティア 殿
(東松島市)

平成27年度に、東松島市で初めてとなる放課後子供教室事業「わくわくチャレンジ」の開始にあたり、ボランティアグループを設立する。試行実施への協力を始めに、これまで7年間に渡り東松島市立矢本西小学校においての活動を企画し、準備・運営を継続している。

令和2年度からは、地域主体の取組へと移行しボランティアリーダーを中心に、地域人材を活かした彩りある活動を展開し、地域との繋がりを大切に、安全・安心な放課後の楽しい活動を児童に届けている。ボランティアグループとして主体性を持った運営や、これまでの経験を市内の団体に伝えサポートする取組など、地域と学校が連携・協働した活動の模範となる団体である。

宮城県漁業協同組合
気仙沼地区支所
大島青年龍宮会 殿
(気仙沼市)

宮城県漁業協同組合気仙沼地区大島出張所に所属する組合員のうち、大島に在住し、養殖業に従事している青年層の組織であり、島内にある小学校や中学校のPTAに所属している会員も多い。このことから学校の現状や教職員の思いを十分に把握し、年度計画について細やかに打ち合わせを行いながら、小学4年生から中学3年生までの6年間を見通した学習との連携ができています。

近年は気仙沼市が進めるESDに由来する海洋教育の重要性について、採苗から収穫までの様々な工程を体験させたり、講話を行ったりしている。また、年度末に児童生徒による発表会に参加し、学習の成果について児童生徒・教職員・保護者と共有し、次年度の活動に活かしている。

これらの活動は、地域を愛し地域の未来を思う児童、生徒を育てる協働教育の推進に大きく貢献している。

【個 人】

豊川 光雄 様
(柴田町)
学校支援ボランティア

柴田町協働教育推進事業「しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)」に、平成24年3月に個人として登録。また、同月、同氏が会長を務める「柴田町星を見る会」も団体登録を行った。「柴田町星を見る会会長」「しばた100選活用チームリーダー」として、継続して町内小中学校での学校教育活動支援に取り組んでいる。

同氏は、「柴田町文化財保護委員会委員長」や「しばた歴史観光ガイドの会代表」等も担っており、その豊富な知識から、各小中学校の要望に応じた出前授業を行う等、多岐に渡って活躍している。また、平成29年度より柴田町協働教育推進委員(地域学校協働本部員)として尽力している。

照井 美智子 様
(大和町)
地域コーディネーター

平成17年度大和町地域子供教室「大和っ子ワイワイ塾」(現在の小野小学校放課後子供教室「わいわい小野っ子」)の立ち上げから現在まで、長年コーディネーターとして放課後の子供たちの安全・安心な居場所づくりに大きく貢献している。

子供たちが楽しめる活動内容の開発や工夫、安全管理員との連絡調整などを円滑に行い、放課後の子供たちを温かく見守るとともに、一人ひとりの成長を支える教室運営に尽力している。

星 幸枝 様
(岩沼市)
地域コーディネーター

平成26年度から現在までの8年間、「放課後子供教室推進事業(のびやか教室)」の運営委員及び「西部のびやか教室(岩沼西小)」のコーディネーターとして、子供の居場所づくりに尽力している。

特に、コーディネート力に優れ、学校との連携を大切にし、学校の施設を効率よく利用しながら事業を実施している。また、現在コーディネーターを務める西部のびやか教室では、地域で活躍する方を招いてのマジックやおりがみ教室などを企画したり、クリスマスリース作りや昔遊び体験などを実施したりするなど、地域と連携した活動を展開している。

山田 浩志 様
(色麻町)
地域コーディネーター

平成25年度から平成26年度まで、色麻中学校PTA会長として「色麻町協働教育プラットフォーム実行委員会」に委員として参加し、平成28年度からは委員及び学校支援コーディネーターとしての取組を始める。現在も「色麻町地域学校協働本部」本部員及び学校支援コーディネーターとして活動するほか、地域学校協働事業「こどものまち」や「校外学習」などの企画・運営に取り組む等、色麻町の協働教育の振興に尽力している。

大内 恵子 様
(栗原市)
学校支援活動

平成19年4月から毎週水曜日の授業前の時間に来校し、各学級を巡回して本の読み聞かせを行っている。活動開始後10年間は絵本の読み聞かせを行っていたが、5年前からは児童の想像力を高めることを目的とし、物語の読み聞かせも行っている。

これらの活動は、児童の読書習慣を身に付けたり読書への関心を高めたりするとともに、国語科の物語文の学習における場面の様子や登場人物の心情を読み取る力の育成に大きく貢献している。

宮城県教育委員会 協働教育推進功績表彰団体・個人一覧

(敬称略)

今野 薫 様
(女川町)
学校支援活動

平成 17 年度から女川町の生涯学習課主催事業である視聴覚教育事業「手作り絵本講習会」の講師を務めている。親子一緒にオリジナルの手作り絵本を作ることで、読書の楽しみや読書への愛着をもたせることを目的としている。令和 3 年度も講師をしていただいている。

平成 27 年度からは、地域連携協働活動である女川中学校の「潮活動」でも「手作り絵本講座」を担当している。自分の感性や創造性を働かせて本を作成しながら、表現する喜びや達成感を味わわせる工夫をした指導により、子供たちの夢を育む志教育へも繋がる優れた指導力を発揮されており、児童生徒の豊かな心の成長の一助となっている。

寶 鈴子 様
(石巻市)
放課後子供教室
地域コーディネーター

寶氏は、平成 24 年に任意団体「放課後児童クラブ Bremen」を立ち上げ、震災後の子供の居場所づくりに取り組んできた。平成 29 年度からは、石巻小学校区の児童を主な対象とした放課後子供教室の運営も併せて行っている。これらの運営の中心的な役割を担っている寶氏は、これまでの豊富な経験を生かし、コーディネーターとして、地域の方々や関係団体から講師を迎えた様々なプログラムを精力的に提供している。地域の子供たちに対して遊びや学びの場を与え、心身の健全な育成を図ることを目的に活動しており、多くの子供たちが放課後子供教室 Bremen を楽しんでいる。

豊里小中学校の学校前交差点において、長年登校日の児童・生徒の見守り活動に個人として携わってきた。平成 29 年度から「登米市学校・地域教育力向上対策事業」の学校支援ボランティアに登録し、スクールガード隊として地域の子供たちの交通事故防止のために日々尽力している。令和 2 年度からは豊里幼稚園、令和 3 年度からは豊里こども園でも見守り活動を実施している。そのほか、校庭の草取り、ゴミ拾い、草花の苗植えなど、環境美化にも貢献され、活動を通して、児童・生徒や教員とも積極的にコミュニケーションを図り、学校と地域の繋ぎ役として、子供たちの成長を支えている。

田村 正美 様
(登米市)
学校支援ボランティア

生まれも育ちも大島で、島内の地理や歴史について詳しい。ボランティアガイドを務めた経験を生かし、児童生徒に地域について分かりやすく伝える活動を長年継続している。現在も活動を続け、4 年生を対象にした十八鳴浜についての学習は、10 年以上にわたって継続していることから、大島の欠かせない授業となっている。さらに、今年度からは 2 年生の生活科でも大島の地理と歴史に関する学習でゲストティーチャーを務めている。

また、平成 20 年の読み聞かせボランティアサークル「いわしの会」発足時から、「読み聞かせ」や語り部の活動に取り組み、遠足で訪れた気仙沼市内の小学生に対して「大島の民話伝承」の読み聞かせを行っている。

小野寺 しめ子 様
(気仙沼市)
学校支援ボランティア

生まれも育ちも大島で、島内の地理や歴史について詳しい。ボランティアガイドを務めた経験を生かし、児童生徒に地域について分かりやすく伝える活動を長年継続している。現在も活動を続け、4 年生を対象にした十八鳴浜についての学習は、10 年以上にわたって継続していることから、大島の欠かせない授業となっている。さらに、今年度からは 2 年生の生活科でも大島の地理と歴史に関する学習でゲストティーチャーを務めている。

また、平成 20 年の読み聞かせボランティアサークル「いわしの会」発足時から、「読み聞かせ」や語り部の活動に取り組み、遠足で訪れた気仙沼市内の小学生に対して「大島の民話伝承」の読み聞かせを行っている。

団体	しろいししちいきがっこうきょうどうかつどう とざんぼらんていあぶかい 白石市地域学校協働活動 登山ボランティア部会 (白石市)
	むらたしょうがっこう よみきかせぼらんていあ 村田小学校 読み聞かせボランティア (村田町)
	とくていひえいりかつどうほうじん しおがましだいいくきょうかい 特定非営利活動法人 塩釜市体育協会 (塩竈市)
	そうごだいちく こらぼかつどうすいしんほんぶ 相互台地区 コラボ活動推進本部 (名取市)
	やもとにししょうがっこう わくわくちゃれんじぼらんていあ 矢本西小学校 わくわくチャレンジボランティア (東松島市)
	みやぎけんぎょぎょうきょうどうくみあい けせんぬまちくししょ おおしませいねんりゅうぐうかい 宮城県漁業協同組合 気仙沼地区支所 大島青年龍宮会 (気仙沼市)
個人	とよかわ みつお 豊川 光雄 (柴田町)
	てるい みちこ 照井 美智子 (大和町)
	ほし ゆきえ 星 幸枝 (岩沼市)
	やまだ こうし 山田 浩志 (色麻町)
	おおうち けいこ 大内 恵子 (栗原市)
	こんの かおる 今野 薫 (女川町)
	たから すずこ 寶 鈴子 (石巻市)
	たむら しょうみ 田村 正美 (登米市)
	おの であら しめこ 小野寺 しめ子 (気仙沼市)